



第6回 ASP・SaaS・クラウドアワード2012 実施概要

特定非営利活動法人
ASP・SaaS・クラウドコンソーシアム

アワードの趣旨



1. クラウドの背景

現在、内閣府IT戦略本部はじめ総務省や経済産業省等においてもASP・SaaS・クラウドコンピューティングを中心としたICT戦略を推進しており、企業、公共団体、医療分野等に広く浸透し普及率も約20%近くに達しています。また、ASP・SaaS・クラウド事業者の80%が他社と連携して事業を推進しています。

ASPICの推計によるとASP・SaaS・クラウドの市場規模も2015年には約3兆円に達すると見込まれ今後ますますの進展が期待されています。

2. アワードの趣旨

日本国内で優秀かつ社会に有益なASP・SaaS・クラウド サービスを表彰し、事業者及びユーザーの事業拡大を支援します。これによってクラウドサービスが社会情報基盤として確立することを目的としています。

3. 募集部門

第6回目を迎える今回は従来から引き続きASP・SaaS部門、データセンター部門及び前回から設けたユーザ部門の三つの部門での募集とします。

アワード受賞企業のメリット



- **新聞等の報道により企業名・サービス名などがとりあげられます。**
 - ・アワードを受賞した企業・サービスはASPICからのプレスリリースにより新聞等の媒体にとりあげられます。
 - また、第一次審査を通過した企業・サービスは ASPICホームページに掲載します。
- **授賞式及びASPICセミナー等での発表**
 - ・各賞の発表及び授賞式はASPIC主催の表彰式を開催します。
 - ・アワードを受賞したサービスは、ASPICの主催するセミナー等で発表の機会が得られます。
- **受賞マークによる営業効果**

受賞企業は、賞状とトロフィーが授与され、各社オフィスなどで展示することにより、企業のイメージアップとともに、アワード受賞マークのHP・パンフレット等への使用により営業活動に大きく貢献します。
- **社内へのアピール効果**

アワードの受賞によりプロジェクトの社内認知度が上がり、経営層へのアピール度が高まるとともに社員のモチベーションの向上に役立ちます。

アワード実施スケジュール



【募集開始 2012年1月10日】

★申込締切:2012年2月29日(水)

申込書にご記入の上送付下さい。

【エントリーシート提出】

提出締切 2012年2月29日(水)

エントリーシートにサービス詳細を記入し提出してください。

書類審査

【第一次審査】 3月

書類審査通過サービスの公表

第1次通過サービス各社は、
第2次審査までに
プレゼンテーション資料を
提出してください。

【第二次審査】 4月

プレゼンテーションによる審査

各賞の決定

2012年6月

表彰式

2012年6月上旬

表彰式にて各賞の発表を行います。

アワード 申込方法



(1)アワード申込 ・・申込開始 2012年1月10日 締切2012年2月29日(水)

※申込書は ASPIC・HPからダウンロードも可能です。

(2)エントリーシート ・ 受付～2012年2月29日(水) 提出 締切

※申込後、配布いたしましたエントリーシートにご記入の上、メールにてお送り下さい。

■エントリーシートが審査の対象となります。それぞれに項目に沿って詳細に記入してください。

■エントリー部門について

1. ASP・SaaS部門のエントリーについては、以下の分野に分かれています。 →分類表参照下さい。

(1)Application分野

A. 社会・業界特化系 B. 基幹業務系 C. 支援業務系

(2)PaaS分野

D. システム基盤、E. ネットワーク基盤、F. 開発・実行基盤

2. データセンター部門

(1)日本国内に設置されているデータセンターを対象とします。

(2)自社以外の複数の企業に対してネットワークを経由してサービスを提供しているデータセンターを対象とします。

(3)データセンターのサービス提供範囲は以下のとおりです。(①、②ともエントリー上の区分はありません。)

①建物(電力、ラック含む)及びハード基盤サービスを提供しているデータセンター
(サービス分類表のG区分) データーセンター&IaaS

②上記に加えてシステム基盤、ネットワーク基盤、開発・実行基盤の各サービスを提供しているデータセンター
(サービス分類表のD、E、F、G区分) データーセンター&IaaS&PaaS

3. ユーザ部門

日本国内においてASP・SaaSクラウドサービスを活用しているユーザ企業で部門・分野を問いません。

4. ASP・SaaS部門、データセンター部門、ユーザ部門、1社複数サービスの応募が可能です。

過去のエントリー企業及び受賞された企業もご応募いただけます。

(参考資料)ASP・SaaS・クラウド サービス分類表

※『ASP・SaaS白書 2009/2010』参考



アプリケーションサービス	A. 社会・業界特化系	企業活動や社会活動を支える業種・業界及び社会横断的なアプリケーション 農林・水産・鉱業、建設、製造(注)、ライフライン、交通・物流、卸・小売・飲食店、金融・保険・リース、不動産、情報通信・メディア、教育・学習、観光・娯楽・宿泊、医療・福祉・保健、環境、防災・治安、行政・公務等の分野 (注)食料品、衣服・繊維、化学、鉄鋼・非鉄金属、一般・電気・精密機器、情報通信機器、輸送用機器、その他	ASP・SaaS	クラウドコンピューティング
	B. 基幹業務系	企業等のコア・バリュー(中核的価値)に直接関わる業務を遂行するアプリケーション R&D、調達、製造、営業、マーケティング、販売・流通、在庫、アフターサービス、財務、会計、人事・研修、資産管理、その他		
	C. 支援業務系	企業等のコア・バリュー創出を円滑化するためのアプリケーション 文書管理、ワークフロー管理、メール配信やアドレス帳管理、ファイル転送、電話会議・TV会議・Web会議、ブログ・SNS、情報共有支援(ナレッジマネジメント等を含む)、アフィリエイトプログラム、その他		
D. システム基盤サービス	アプリケーションのASP・SaaS化に必要な課金・認証等の付加機能を提供するサービス 検索、認証、決済・課金、セキュリティ、位置情報、タイムスタンプ、メディア、言語変換、統合連携、その他	PaaS		
E. ネットワーク基盤サービス	ネットワークの状態を監視・最適化し、安全な利用を実現可能にするサービス ネットワーク監視・侵入検知、ネットワーク制御、配信管理、暗号化、その他			
F. 開発・実行基盤サービス	アプリケーション、システム等の開発・実行環境を提供するサービス OS、ミドルウェア、開発キット、その他			
ハード基盤サービス	ASP・SaaSの提供に必要なハードウェア資源をネットワーク経由で提供するサービス CPU、メモリ、仮想化サーバー、ストレージ、ハードディスク、その他	IaaS	データセンター	
G. 建物 (電力、ラックを含む) 通信ネットワーク機器				

アワード各賞 ASP・SaaS部門(予定)



1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点
2. 分野別グランプリ (1) Application分野グランプリ	① 社会・業界特化系分野において最も優れたサービス
	② 基幹業務系分野において最も優れたサービス
	③ 支援業務系分野において最も優れたサービス
(2) PaaS分野グランプリ	PaaS分野において最も優れたサービス
3. ベストイノベーション賞	該当するサービスが社会や企業のイノベーションに貢献した実績のあるサービス
4. 先進技術賞	先進的且つ高度な技術を用いた最も優れたサービス
5. ベスト連携賞	他のサービスと最もうまく連携を図ったサービス
6. 海外展開賞	ASP・SaaSサービスを海外へ展開し、成功を収めたサービス
7. ベスト環境貢献賞	CO ₂ 削減等環境に対して最も貢献をしたサービス
8. ニュービジネスモデル賞	新しい領域や事業分野へチャレンジしたサービス

注:重複の受賞はありません。

アワード各賞 データセンター部門(予定)



1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したデータセンター
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いデータセンター
3. ベスト環境貢献賞	CO2削減等最も環境に貢献しているデータセンター
4. ベスト連携賞	他のデータセンターとの連携が最もうまく図れたデータセンター
5. ベスト地域貢献賞	地域に対して最も貢献をしたデータセンター
6. ニュービジネスモデル賞	新しい領域や事業分野へチャレンジしたデータセンター

注:重複の受賞はありません。

アワード各賞 ユーザ部門(予定)



1. 総合グランプリ	全評価項目で最高得点を獲得した企業
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高い企業
3. ベストイノベーション賞	ASP・SaaSクラウドサービスを利用することにより、経営改革や経営の効率化に最も貢献した企業
4. ベスト環境貢献賞	ASP・SaaSクラウドサービスを利用することにより、CO2削減等環境に対して最も貢献をした企業
5. ニュービジネスモデル賞	ASP・SaaSクラウドを活用し新たなビジネスモデルを構築した企業や新たな事業領域へチャレンジした企業

注: 重複の受賞はありません。

表彰式



日時：2012年6月上旬

場所：未定

※日程、場所等未定ですが各賞の発表及び表彰を
ASPIC主催で開催いたします。

第1回 (2006) ・セールスフォース・ドットコム株式会社 「 sales force」

第2回 (2007/2008)

- ・ ASP・SaaS部門
プロパティデータバンク株式会社 「不動産管理ASP・SaaS「@プロパティ」」
- ・ IDC部門
富士通株式会社 「館林データセンター」

第3回 (2009) ・ ASP・SaaS部門

- コクヨS&T株式会社 「@とぼす」
- ・ IDC部門
NTTスマートコネクト株式会社 「NTTスマートコネクトデータセンター」

第4回 (2010) ・ ASP・SaaS部門

- 株式会社ネオジャパン
「オンデマンド・アプリケーション・サービス『Applitus (アプリタス)』」
- ・ IDC部門
株式会社NTTPCコミュニケーションズ 「門前仲町データセンター」

- 第5回（2011）
- ・ ASP・SaaS部門
 - (株)コンストラクション・イーシー・ドットコム
 - (株)エヌ・ティ・ティ・データ株式会社
 - 「CECTRUST電子契約サービス」
 - ・ データセンタ部門
 - NTTコミュニケーションズ(株)「東京第五データセンター」
 - ・ ユーザ部門
 - 大成建設(株)「建設サイト・シリーズ(作業所Net 他)」

過去の受賞企業一覧の詳細はASPICホームページに掲載しております

第1回 表彰式記念撮影

第1回表彰式 記念撮影 2007年2月9日
ASP・SaaS部門



第2回 表彰式記念撮影

第2回表彰式 記念撮影 2008年1月25日

ASP・SaaS部門



佐藤総務副大臣、中田政策統括官、秋本課長 ご臨席

IDC部門



佐藤総務副大臣、中田政策統括官、秋本課長 ご臨席

第3回 表彰式記念撮影



ASP・SaaS部門

第3回表彰式 記念撮影 2009年2月19日

IDC部門



中央
石崎総務副大臣
中島委員長・河合会長 戸塚政策統括官、秋本課長

中央
石崎総務副大臣
中島委員長・河合会長 戸塚政策統括官、安藤課長

第4回 表彰式記念撮影

ASP・SaaS部門

第4回表彰式 記念撮影 2010年2月19日

IDC部門



中央
原正之政策統括官
中島委員長・河合会長 武井大臣官房審議官、安藤課長

中央
原正之政策統括官
中島委員長・河合会長 武井大臣官房審議官、安藤課長

第5回 表彰式記念撮影



第5回表彰式 記念撮影 2011年6月15日

ASP・SaaS部門

ユーザ部門



中央

中島委員長・河合会長 原政策統括官 武井大臣官房審議官

中央

原政策統括官

中島委員長・河合会長

武井大臣官房審議官

データセンタ部門



中央

阪田委員長・河合会長 原政策統括官 武井大臣官房審議官